

## ■一般目標 (GIO)

残存歯を有する可撤性装置である部分床義歯を製作するために、部分床義歯の構成要素、製作に関連する理論と技術を修得する。

## ■到達目標 (SBOs)

- ・部分床義歯の構成要素を説明できる。
- ・各種クラスプを説明できる。
- ・アタッチメントの種類、構造を説明できる。
- ・サバイヤーの使用目的と構造を説明できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：火曜日 18：00～18：45

■オフィスアワー：伊藤 顕治 火曜日・17：00～17：45

■成績評価：定期試験（90%）、平常試験（10%）として総合評価する。

■注意事項：講義時に教科書と配付プリントを持参すること。

■授業方法：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。第7回時に平常試験を実施するので復習すること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間相当の時間を充てること。

■実務経験：伊藤 顕治：現在、日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅱ講座に在籍しており、部分床義歯学を専門とする歯科医師の立場から講義を行うことで、理解が深まると考える。

■関連教科：有床義歯技工学（1年、3年）

## ■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月7日 伊藤 顕治	1. 部分床義歯の特性 1) 構成要素 2) 残存歯、欠損の分布状態による分類 3) 咬合圧の支持様式による分類 4) 咬合圧の支持域による分類 5) 義歯の目的別による分類 (教) pp. 104-110 2. 部分床義歯の製作順序 (教) pp. 111-113	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部分床義歯の構成要素を説明できる。</li> <li>・部分床義歯の維持、把持、支持を説明できる。</li> <li>・部分床義歯を残存歯と欠損の分布状態を説明できる。</li> <li>・部分床義歯の作業順序を説明できる。</li> </ul>
第2回4月21日 伊藤 顕治	3. 部分床義歯の印象採得に伴う技工作業 4. 部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業 (教) pp. 158-172	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖学的ランドマークを説明できる。</li> <li>・研究用模型、作業用模型の製作方法を説明できる。</li> <li>・個人トレーの製作方法を説明できる。</li> <li>・咬合採得の目的を説明できる。</li> <li>・咬合床の役割と製作方法を説明できる。</li> <li>・オルタードキャスト法が説明できる。</li> </ul>
第3回5月19日 伊藤 顕治	5. 部分床義歯の構成要素 (1) 1) 支台装置 (教) pp. 115-147, 264-273	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接支台装置と間接支台装置を説明できる。</li> <li>・各種クラスプを説明できる。</li> <li>・環状クラスプ、バー型クラスプの種類と特徴を説明できる。</li> <li>・ノンメタルクラスプデンチャーを説明できる。</li> </ul>
第4回6月9日	5. 部分床義歯の構成要素 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アタッチメントの種類、構造を説明できる。</li> </ul>

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
伊藤 顕治	1) 支台装置 (教) pp. 114-147	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレスコープ義歯の特徴，構造を説明できる。</li> <li>・レストの種類，目的を説明できる。</li> <li>・補助支台装置の種類，目的を説明できる。</li> </ul>
第5回 6月23日 伊藤 顕治	6. クラスプの製作 (1) 1) サベイヤの構造と使用方法 2) 鑄造鉤 3) 線鉤 (教) pp. 173-193	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サベイヤの使用目的と構造を説明できる。</li> <li>・クラスプの製作方法を説明できる。</li> </ul>
第6回 7月7日 伊藤 顕治	6. クラスプの製作 (2) 2) 鑄造鉤 3) 線鉤 (教) pp. 173-193	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスプの製作方法を説明できる。</li> </ul>
第7回 7月21日 伊藤 顕治	7. 前期のまとめ 「平常試験」，解説 (教) pp. 104-147, 158-193	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1～6回までの講義内容について理解度を確認できる。</li> <li>・理解度の低い箇所について知識を深める。</li> </ul>